

会議要録

会議名	令和元年度第1回八王子市消費者教育推進会議	
日時	令和元年7月26日（金）午後2時～午後3時05分	
場所	クリエイトホール10階 第2学習室	
出席者氏名	参加者	朝日ちさと、渡邊隆、浅海正代、小林千里、柳木邦子、柿木眞弓、深沢靖彦、田中利男、赤木省三、成瀬義雄、高瀬智子、竹口君夫、宮本久也、野村洋介、野口庄司、橋本光太郎（敬称略）
	事務局	奈良貴代課長補佐兼主査、中野みゆき主任、辻清江主任
欠席者氏名	なし	
議題等	<p>(1) 八王子市消費者教育推進計画 平成30年度の取り組みの検証について</p> <p>(2) 八王子市消費者教育推進計画 令和元年度の取り組み実施予定について</p> <p>(3) その他</p>	
公開・非公開の別	公開決定後公開	
非公開理由		
傍聴人の数	0名	
配付資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 第2期八王子市消費生活基本計画・消費者教育推進計画 平成30年度取り組み実施状況 ・ 八王子市消費者教育推進会議参加者名簿 ・ 八王子市消費者教育推進会議開催要綱 ・ 平成30年度 事業概要 ・ 小学生向け消費者教育副読本「わたしたちのくらしと商店の仕事」 ・ 中学生向け消費者教育副読本「磨け！消費者力」 	

会議内容

1 開会

事務局 : これより令和元年度第1回八王子市消費者教育推進会議を開会いたします。

<資料確認>

<市民部長挨拶>

<音声の録音及び会議公開の報告>

2 参加者紹介

<参加者の紹介>

<オブザーバーの紹介>八王子警察署生活安全課長

3 座長選任

事務局 : この会議の開催について、資料2「八王子市消費者教育推進会議開催要綱」に沿って、説明いたします。この会議では、皆様を「参加者」とさせていただきますので、ご了承くださいと思います。

また、この会議で議事を進めるにあたり、座長を選任することとなっております。座長につきましては、首都大学東京 都市環境学部教授の 朝日ちさと様をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<朝日参加者及び他の参加者に確認>

事務局 : それでは、朝日様に座長をお願いしたいと思います。座長席にご着席ください。

事務局 : それでは、議事の進行をよろしく願いいたします。

4 議事

朝日座長 : 首都大学東京の朝日と申します。よろしく願いいたします。では、ここから議事を進行します。まず、事務局から傍聴者について報告願います。

事務局 : 本会議場に傍聴席を設けましたが、現在、傍聴者はありません。この後、傍聴希望者があった場合は随時入場しますのでご了承ください。

朝日座長 : では、議事に入ります。本日の議事は「(1) 八王子市消費者教育推進計画 平成30年度の取り組みの検証について」、「(2) 八王子市消費者教育推進計画 令和元年度の取り組み実施予定について」です。まず、事務局から一括して説明をお願いします。

事務局 : <事務局説明>

朝日座長 : 説明が終わりました。説明を踏まえて、ご意見、ご質問をお願いします。

朝日座長 : 基本的な確認になりますが、取り組みの担当課がいろいろありますが、検証案の達成状況の判断はどうかされているのですか。

事務局 : 各課に照会し、各課による自己評価を踏まえて消費生活センターで検証案を作成しています。これをこの後の審議会で審議・決定していただくこととなります。

渡邊 : 今回の検証案の中に個別の講座の周知方法の改善を必要とすると思いますが、どんな形で周知していますか。

事務局 : 広報はちおうじ、チラシ、ホームページの利用です。今後は拡散性のあるSNS、ツイッターも利用していきます。また、関係機関へも地味地にPRしていく予定です。大学生向けの講演会は大学教職員の会合で周知したのですが応募がなかったため、各大学に直接出向いて働きかけました。

朝日座長 : 他にございますか。

小林 : 若い人はチラシやホームページにアクセスすることはあまりしません。成人年齢が引き下げられることもあり、トラブル回避だけでなく、早い段階でお金の役割や使い方を意識してもらう必要があります。最近SNSやネット上の体験型の物などいろいろなところに少しずつあるので、そういったところに繋げていけるとよいと思います。若い人はトラブル回避だけでは積極的にイベントに足を運ぶことは難しいので、フォーカスしすぎないで金銭などについて体験型のものがよいと思っています。

朝日座長 : トラブル回避が基本姿勢としてあると思いますが、事務局では事業の取り組みとしてどのように考えますか。

事務局 : 体験型というと夏休み親子見学会や冬休み親子講座、イベントが主なものです。共働き家庭が多く平日の参加が難しいようなので、今後は休日の開催を検討する必要があると考えます。

朝日座長 : 危険・トラブル回避が前面出ていますが、それ以外にもっと上流のお金の使い方や取引に関する講座はないのですか。

事務局 : 児童館が主催する「こどもシティ」というイベントに参加しています。遊びを通して、仕事やお金と商品の交換の方法などを子どもたちに体験してもらうものです。

朝日座長 : 啓発などを行ったという点では目標を達成できたと評価してよいと思いますが、実施した結果として参加者が少なかったなどの事実がある中で、発信したものがどれだけ市民に届いたのか、反応があったのかが分かると課題が見えてくると思います。特に解決策が見えてくるような取り組みはありましたか。

事務局 : アウトカムですね。苦戦しているところです。もっとアンケートなどを活用して改善につなげていきたいと考えます。

朝日座長 : 他に、ご意見・ご質問はございますか。

柿木 : 参考資料のチラシの中にある親子見学会は、親子でないと参加できないのでしょうか。

事務局 : 親に限定はしていませんが、安全面もあり、保護者と一緒に参加していただいています。

柿木 : 大人1人がいてお友だち同士の子ども3人とかはどうでしょうか。

事務局 : その場だけではなく家庭の中で話すきっかけにもなるようにと考えており、保護者とお子さんのペアを想定しています。

柿木 : このチラシは漢字が多く、内容も子どもには難しいと思いますが、大人向けに作成しているのですか。

事務局 : チラシの他に広報紙への掲載もしていますが、保護者に向けてお知らせしています。

渡邊 : 消費生活関連図書等の貸し出しについてですが、ほとんど活用されていない状況ですね。ホームページにデータベースを掲載するなど努力はしていると思いますが、もっと工夫して積極的に発信していかないと利用促進にはつながらないと思います。

事務局 : 折を見て広報していきたいと考えおります。

渡邊 : 消費生活センターが地下にあり、場所的に目立たないうえに、貸し出しが行われているかどうかとも判りづらいと思います。

事務局 : 実現できるかはわかりませんが、階上にある図書館に案内の掲示をしてもらえたら多少効果があるかと思えます。
また、自分がよいと思う本をプレゼンして、聞いた人が読んでみたいと思った本を選ぶ「ビブリオバトル」をPRに活用していく予定です。過去に実施した際の本を展示・貸し出ししています。

赤木 : 我々消費生活啓発委員も連携して企画に入っているので補足になりますが、本来のビブリオバトルは方向性を決めずに自分が興味を持った本で行いますが、センターで行う時は「もったいない」を軸にしています。プレゼンを聞いた人に挙手してもらいチャンプ本を決め、消費生活センターで購入してもらっています。「もったいない」は金銭や利便性など人によって感じ方が違って面白いテーマです。ただ、興味を持った方しか入ってこられないので、多くの人を呼ぶのが難しく、次につながらないのが悩みです。

朝日座長 : 「もったいない」は消費のキーワードの中でも注目されていますね。図書貸出の周知はどのようにしているのですか。あまり宣伝せず、用事があって訪れた方が見る程度なのですか。

事務局 : 当センターは相談業務が大きな柱となっていて、消費について困ったことができて初めて来所される方がほとんどです。今後は相談以外の側面から、環境・エシカル・SDGsなどについての情報発信が必要と考えています。

朝日座長 : 利用促進の課題解決として図書館との連携などできることがありそうですね。
他にございますか。

竹口 : 中学校で消費者教育に関わらせていただいています。小・中・高校は実質的な消費者になるための準備というところで、教育として非常に大事な部分で、将来被害に遭わないようにしっかり取り組んでいこうということだと思います。大学生くらいからは実際に被害者になり得るということで大学のガイダンスはまだまだ足りないと思います。八王子の特色として大学が多く、その学生が被害に遭ったり、逆に加害者になる危険性もあります。小・中学生については今のうちから話をし、危険を感じた時に消費生活センターなどに相談に行ける力をつけるというところでよいと思いますが、大学生についてはもう少し頑張っていただきたいと思います。

小中学校の副読本については力を入れて行ったところですが、課題もあります。消費者教育という科目があるわけではないため時間の確保が難しく、学校毎に温度差があると思います。副読本を作ったことにより前進はしていると思いますが、時間の確保などが課題になっています。また、世の中の進み具合が早く、副読本にないキャッシュレス、仮想通貨など新しいものが次々と出てきているため、それにも対応していく必要もあります。

朝日座長 : 大学の取り組みについては、大学により差があると思います。取り組みの進んでいるところのやり方の横の情報があまりないと思われます。課題は共通したもののなので横の繋がりが組めるとよいと思います。

副読本も活用のしかたに差があるとのこと指摘ですが、キャッシュレスのような世の中の動きの速さについてはいかがですか。

事務局 : 職員もなかなかついていけない状況です。現金が商品券からカード、スマホアプリへと大変なスピードです。大学のガイダンスについては、授業の一環として行うところや他の授業時間と同時に行い参加者が集まらないところ、大人なので自己責任と考えるところもありますし、マルチ商法になると被害者だけでなく加害者になってしまうこともあるので全学生に実施する大学といろいろです。1人出ると芋づる式に何件か相談がくるという状況で拡散性はあると考えます。

朝日座長 : ありがとうございます。時間もありますので、「議事1・2」については以上をもって終了とさせていただきます。続きまして「議事3その他」についてお願いいたします。

事務局 : 本日の会議要録は事務局でとりまとめ、皆様にご提示して確認をしていただきます。修正等が出た場合は、必要に応じて参加者の皆様にご連絡のうえご確認をいただき、会議要録を決定したいと思います。また、本会議は、毎回参加者の中から「議事録の署名」をお願いしております。座長以外の参加者の方をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

<参加者から「異議なし」の声あり>

朝日座長 : 本日の会議要録の署名ですが、名簿の記載順に従って、渡邊さんをお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

<参加者から「異議なし」の声あり>

朝日座長 : それでは、以上をもちまして、本日の議事は終了となります。進行を事務局にお返しします。

5 閉会

事務局 : 座長には、会議の進行ありがとうございました。最後になりますが、ここで、名簿等の公開について、ご了解をいただきたいと思えます。本会議は、先ほど御説明したとおり八王子市消費者教育推進会議開催要綱に基づき開催していますが、その運営にあたっては、本市全体の会議の運営の指針である「八王子市附属機関及び懇談会等に関する指針」に沿って行っています。その指針では、任用期間や併任状況、また男女比などを確認するため参加者名簿を広聴課へ提出して庁内で閲覧できるようにしております。また、会議を設置した場合は、その名称や開催の目的、参加者名簿等を市のホームページに掲載すること、さらに、会議の終了後は会議録を作成し、当該会議で確認を得て、市ホームページ等で公表しなければならないとしています。つきましては、本日お配りしている名簿の範囲内で庁内においての情報共有と市ホームページでの公表、また署名をいただいた会議録のホームページ公表についてご同意をいただき、事務手続きを進めたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

<同意について了承>

事務局 : ありがとうございます。次回会議の開催日ですが、11月11日（月）の午後2時からを予定しております。1か月程度前に、改めて文書で通知を送らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上で、本日の消費者教育推進会議を終了とします。

ありがとうございました。5分程休憩した後、第1回八王子市消費生活審議会に移りますので、審議会委員の皆様、引き続きよろしくお願いいたします。

令和 元 年 1 1 月 1 1 日

参加者 渡邊 隆